

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成26年1月9日 (2014.1.9)

【公表番号】特表2011-504936(P2011-504936A)

【公表日】平成23年2月17日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2010-536190(P2010-536190)

【国際特許分類】

C 0 7 D 307/79 (2006.01)

A 6 1 K 31/343 (2006.01)

C 0 7 D 405/12 (2006.01)

A 6 1 K 31/443 (2006.01)

A 6 1 K 31/497 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 307/79 C S P

A 6 1 K 31/343

C 0 7 D 405/12

A 6 1 K 31/443

A 6 1 K 31/497

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 9/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年11月13日(2013.11.13)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

いくつかの実施形態において、Jが：

$J' - N(D) - SO_n -$ 、 $J' - N(D) - CO_n -$ 、 $J' - N(D) - (R)_q -$ 、
または $J' - N(D) - (R)_q -$ （ここで、
 $n = 1 \sim 2$ であり；
 $q = 0 \sim 1$ であり；

Dは、水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキル、O-アルキル、O-シクロアルキル、O-シクロアルキルアルキル、O-ヘテロシクロアルキル、O-ヘテロシクロアルキルアルキル、O-ヘテロアラルキル、O-アラルキル、N(R)-アルキル、N(R)-シクロアルキル、N(R)-シクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロアラルキル、N(R)-アラルキル（ここで、Dは、場合によって、アルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O-アルキル、もしくはS-アルキルによって置換される）から選択され；

J'は、アシル、スルホノ、アミノアルキル、アリールアミノアルキル、ヘテロアリールアミノアルキル、アラルキルアミノアルキル、ヘテロアラルキルアミノアルキル、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキル、O-アルキル、O-シクロアルキル、O-シクロアルキルアルキル、O-ヘテロシクロアルキル、O-ヘテロシクロアルキルアルキル、O-ヘテロアラルキル、O-アラルキル、N(R)-アルキル、N(R)-シクロアルキル、N(R)-シクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロアラルキル、N(R)-アラルキルから選択され、置換基のそれぞれは、場合によって、アルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O-アルキル、もしくはS-アルキルにより置換され；

Rは、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、アラルキル、およびヘテロアラルキルである）を含む、前記化合物が提供される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

いくつかの実施形態において、Dは水素であり、ここで、Rはアルキルであり、 $q = 1$ であり、ここで、Jは $J' - N(D) - SO_2 -$ を含み、Jは $J' - N(D) - CO -$ を含み、RはCH₂であり、 $q = 1$ であり、J'はアミノアルキルであり、J'はアリールアミノアルキルであり、J'はヘテロアリールアミノアルキルであり、J'はアラルキルアミノアルキルであり、J'はヘテロアラルキルアミノアルキルであり、Jは-NH-基またはその塩形態を含む。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 1

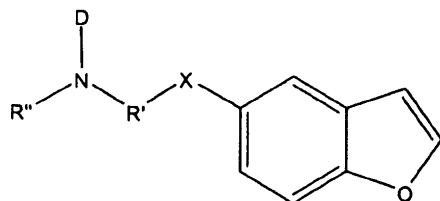
【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 1 】

構造：

【化 3】



(式中、Xは $[-N(D)-SO_n-]_q$ であり、ここで、nは1もしくは2であり、qは0もしくは1であり；R'は、qが0である場合、 $C_1 \sim C_6$ アルキルであり得るか、またはqが1である場合、 $C_2 \sim C_6$ アルキルであり、R'は、場合によって、 $C_1 \sim C_3$ アルキル、OH、O-アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキルおよびヘテロアラルキルからなる群より独立して選択される3個までの置換基によって置換され；各Dは、独立して、水素、アルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルおよびアラルキルからなる群より選択することができ；R''は、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル- $C_1 \sim C_6$ -アルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキルであって、場合によって、OH、O-アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキルおよびヘテロアラルキルからなる群より独立して選択される3個までの置換基によって置換される)を有する化合物も提供される。一実施形態において、qは0であり、R'はメチレンである。この実施形態において、DはHもしくはヘテロアラルキルであり得、R''は、ヘテロアリール、ヘテロアラルキル、または場合によって置換されている $C_1 \sim C_6$ アルキルであり得る。具体的な実施形態において、R''は、アルキルカルバモイル置換 $C_1 \sim C_6$ アルキルで有り得る。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 9

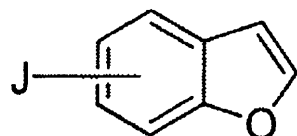
【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 9 】

いくつかの実施形態において、式：

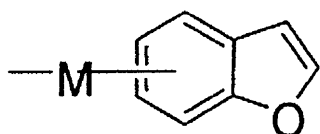
【化 7】



によって表される当該化合物は：

1～12個の炭素原子を含み、場合によって、O、S、およびNからなる群より独立して選択される1～3個のヘテロ原子を含む基、
 $-OCON(R_2)-$ 、 $-S(O)_nN(R_2)-$ 、 $-CON(R_2)-$ 、 $-COCO(NR_2)-$ 、 $-N(R_2)CON(R_2)-$ 、 $-N(R_2)S(O)_nN(R_2)-$ 、N

(R2) COもしくは-N(R2)COO-;
 $-(CG_1G_2)_m-$ (式中、mは0~6であり、G₁およびG₂は、同一または異なり、各G₁およびG₂はそれぞれ独立して、結合、H、ハロ、ハロアルキル、OR、場合によって置換されたアルキル、場合によって置換されたアルケニル、場合によって置換されたアルキニル、場合によって置換されたアリール、場合によって置換されたシクロアルキル、場合によって置換されたシクロアルキルアルキル、場合によって置換されたアラルキル、場合によって置換されたヘテロアリール、場合によって置換されたヘテロアラルキル、および場合によって置換されたヘテロシクロアルキルからなる群より選択され、ここで、それぞれの任意の置換基は、アルキル、ハロ、シアノ、CF₃、OR、C₃-C₇シクロアルキル、C₅-C₇シクロアルケニル、R6、OR2、SR2、N(R2)₂、OR3、SR3、NR2R3、OR6、SR6、およびNR2R6からなる群より独立して選択され、G₁およびG₂は、これらが結合している原子と一緒にあって、場合によって3~7員炭素環式またはN、SおよびOからなる群より選択される3個までのヘテロ原子を含有するヘテロ環を形成することができ、環は場合によって、3個までのR7部分【化8】



で置換されてもよく、
 ここで、Mは：結合、OC(R8)_q、-CO-、-SO_n-、-O-、-O-CO-、-N(D)-SO_n-、-N(D)-CO_n-、-N(D)-(R8)_q-、-SO_n-N(D)-(R8)_q-、もしくは-CO_n-N(D)-(R8)_q-からなる群より選択され、
 Mは、ベンゾフラン環に関していずれかの方向で結合することができ、
 ここで、Dは、水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキル、O-アルキルから選択され、ここで、Dは場合によって、アルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O-アルキル、もしくはS-アルキルによって置換され；
 Rは、H、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、アラルキル、およびヘテロアラルキルであり；
 各R2は、H、C₁-C₁₂アルキル、C₃-C₈シクロアルキル、アリール、アラルキル、ヘテロアリール、ヘテロアラルキル、およびヘテロシクロアルキルからなる群より独立して選択され、それぞれは、さらに場合によって、C₂-C₆アルケニル、C₂-C₆アルキニル、C₃-C₈シクロアルキル、C₅-C₈シクロアルケニル、ヘテロシクロ；ハロ、OR、ROH、R-ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、NRPO_nOR、オキソ、=N-OR、=N-N(R)₂、=NR、=NNR(CO)N(R)₂、=NNR(CO)_nR、=NNRS(O)_nN(R)₂、および=NNRS(O)_n(R)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換されるか；
 または各R2は、C₁-C₆アルキルからなる群より独立して選択され；アリールもしくはヘテロアリールによって置換され；これらの基は、場合によって、ハロ、OR、ROH、R-ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)

)₂、NRPO_nORからなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；
 R3は、C₂－C₆アルケニル、C₂－C₆アルキニル、C₃－C₈シクロアルキル、C₅－C₈シクロアルケニル、もしくはヘテロシクロであり；これらの基は、場合によって、ハロ、OR2、R2－OH、R2－ハロ、NO₂、CN、CO_nR2、C(O)N(R2)₂、C(O)N(R2)N(R2)₂、C(S)R2、C(S)N(R2)₂、S(O)_nN(R2)₂、SR2、SO_nR2、N(R)₂、N(R2)CO_nR2、NR2S(O)_nR2、NR2C[=N(R2)]N(R2)₂、N(R2)N(R2)CO_nR2、オキソ、=N－OR2、=N－N(R2)₂、=NR2、=NNRC(O)N(R2)₂、=NNR2C(O)_nR2、=NNR2S(O)_nN(R2)₂、および=NNR2S(O)_n(R2)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；

R6は、アリアルもしくはヘテロアリアルであり、ここで、アリアルもしくはヘテロアリアルは、場合によって、アリアル、ヘテロアリアル、R2、R3、ハロ、OR2、R2OH、R2－ハロ、NO₂、CN、CO_nR2、C(O)N(R2)₂、C(O)N(R2)N(R2)₂、C(S)R2、C(S)N(R2)₂、S(O)_nN(R2)₂、SR2、SO_nR2、N(R)₂、N(R2)CO_nR2、NR2S(O)_nR2、NR2C[=N(R2)]N(R2)₂、N(R2)N(R2)CO_nR2、OC(O)R2、OC(S)R2、OC(O)N(R2)₂、およびOC(S)N(R2)₂からなる群より選択される1つもしくは複数の基で置換され；

R7は、H、オキソ、C₁－C₁₂アルキル：C₃－C₈シクロアルキル、アリアル、アラルキル、ヘテロアリアル、ヘテロアラルキル、もしくはヘテロシクロアルキルであり、それぞれはさらに、場合によって、C₂－C₆アルケニル、C₂－C₆アルキニル、C₃－C₈シクロアルキル、C₅－C₈シクロアルケニル、ヘテロシクロ；ハロ、OR、ROH、R－ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、NRPO_nOR、オキソ、=N－OR、=N－N(R)₂、=NR、=NNRC(O)N(R)₂、=NNRCO_nR、=NNRS(O)_nN(R)₂、および=NNRS(O)_n(R)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；R8は、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリアル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリアル、アラルキル、およびヘテロアラルキルであり；n=1～2、およびq=0～1であり、

ベンゾフラン部分のベンゼン環は、場合によって、R2、ハロ、OR、ROH、R－ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、およびNRPO_nORからなる群より独立して選択される3個までの置換基で置換することができ、3個までの置換基は、ベンゼン環の隣接する炭素原子間で環を形成せず、当該化合物は塩基性脂肪族アミン官能基を含まず、カルボン酸基を含まないものとする）を含むことができる。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

いくつかの実施形態において、Jは：

J'－N(D)－SO_n－、J'－N(D)－CO_n－、J'－N(D)－(R)_q－、
 もしくはJ'－N(D)－(R)_q－を含み；ここで、

$n = 1 \sim 2$ であり；

$q = 0 \sim 1$ であり；

Dは、水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキル、O-アルキル、O-シクロアルキル、O-シクロアルキルアルキル、O-ヘテロシクロアルキル、O-ヘテロシクロアルキルアルキル、O-ヘテロアラルキル、O-アラルキル、N(R)-アルキル、N(R)-シクロアルキル、N(R)-シクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロアラルキル、N(R)-アラルキルから選択され、Dは、場合によって、アルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O-アルキル、もしくはS-アルキルによって置換され；

J'は、アシル、スルホノ、アミノアルキル、アリールアミノアルキル、ヘテロアリールアミノアルキル、アラルキルアミノアルキル、ヘテロアラルキルアミノアルキル、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルまたはアラルキル、O-アルキル、O-シクロアルキル、O-シクロアルキルアルキル、O-ヘテロシクロアルキル、O-ヘテロシクロアルキルアルキル、O-ヘテロアラルキル、O-アラルキル、N(R)-アルキル、N(R)-シクロアルキル、N(R)-シクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキル、N(R)-ヘテロシクロアルキルアルキル、N(R)-ヘテロアラルキル、N(R)-アラルキルから選択され、これらの置換基のそれぞれは、場合によってアルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O-アルキル、またはS-アルキルによって置換され；

Rは、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、アラルキル、およびヘテロアラルキルである。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

いくつかの実施形態において、Dは水素であり、Rはアルキルであり、 $q = 1$ であり、Jは、 $J' - N(D) - SO_2 -$ を含み、Jは $J' - N(D) - CO -$ を含み、Rは CH_2 であり、 $q = 1$ であり、J'はアミノアルキルであり、J'はアリールアミノアルキルであり、J'はヘテロアリールアミノアルキルであり、J'はアラルキルアミノアルキルであり、J'はヘテロアラルキルアミノアルキルであり、Jは-NH-基またはその塩形態を含む。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

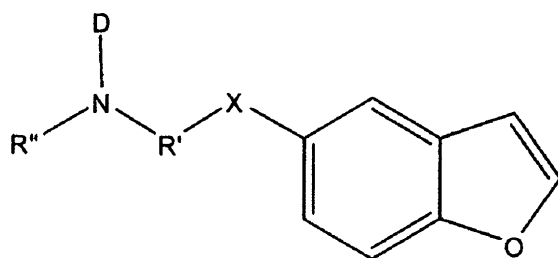
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

構造：

【化 1 1】



(式中：Xは、 $[-N(D)-SO_n-]_q$ (ここで、nは1もしくは2であり、qは0もしくは1である) であり；

R'は、qが0の場合、 C_1-C_6 アルキルであるか、またはqが1の場合、 C_2-C_6 アルキルであり、R'は、場合によって、 C_1-C_3 アルキル、OH、O-アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキルおよびヘテロアラルキルからなる群よりから独立して選択される3個までの置換基によって置換され；

各Dは、独立して、水素、アルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルおよびアラルキルからなる群より選択することができ；

R''は、 C_1-C_6 アルキル、 C_3-C_6 シクロアルキル、 C_3-C_6 シクロアルキル- C_1-C_6 -アルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキルであり、場合によってOH、O-アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキルおよびヘテロアラルキルからなる群より独立して選択される3個までの置換基によって置換される)

を有する化合物も提供される。具体的な実施形態において、qは0であり、R'はメチレンであり；DはHもしくはヘテロアラルキルであり得、R''は、ヘテロアリール、ヘテロアラルキル、または場合によって置換された C_1-C_6 アルキルで有り得る。具体的な実施形態において、R''は、アルキルカルバモイル置換 C_1-C_6 アルキルであり得る。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0051

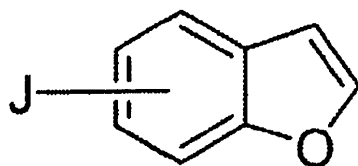
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0051】

いくつかの実施形態において、式

【化 1 5】



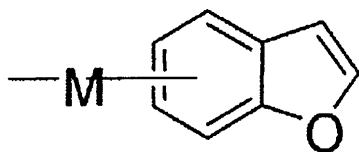
によって表される当該化合物は：

1～12個の炭素原子、場合によって、O、S、およびNからなる群より独立して選択される1～3個のヘテロ原子を含む基、

-OCON(R₂)-、-S(O)_nN(R₂)-、-CON(R₂)-、-COCO(NR₂)-、-N(R₂)CON(R₂)-、-N(R₂)S(O)_nN(R₂)-、N(R₂)COもしくは-N(R₂)COO-；

—(C G₁ G₂)_m—(ここで、mは0～6であり、G₁およびG₂は同一または異なり、各G₁およびG₂は独立して、結合、H、ハロ、ハロアルキル、OR、場合によって置換されたアルキル、場合によって置換されたアルケニル、場合によって置換されたアルキニル、場合によって置換されたアリール、場合によって置換されたシクロアルキル、場合によって置換されたシクロアルキルアルキル、場合によって置換されたアラルキル、場合によって置換されたヘテロアリール、場合によって置換されたヘテロアラルキル、および場合によって置換されたヘテロシクロアルキルからなる群より選択され、ここでそれぞれの任意の置換基は、独立して、アルキル、ハロ、シアノ、CF₃、OR、C₃—C₇シクロアルキル、C₅—C₇シクロアルケニル、R₆、OR₂、SR₂、N(R₂)₂、OR₃、SR₃、NR₂R₃、OR₆、SR₆、およびNR₂R₆からなる群より選択され、G₁およびG₂は、これらが結合している原子と一緒に、場合によって、3～7員炭素環式またはN、SおよびOからなる群より選択される3個までのヘテロ原子を含有するヘテロ環を形成することができ、この環は、場合によって、3個までのR₇部分で置換することができる)、

【化16】



(式中、Mは：結合、OC(R₈)_q、—CO—、—SO_n—、—O—、—O—CO—、—N(D)—SO_n—、—N(D)—CO_n—、—N(D)—(R₈)_q—、—SO_n—N(D)—(R₈)_q—、もしくは—CO_n—N(D)—(R₈)_q—からなる群より選択され、

Mは、ベンゾフラン環に関していずれかの方向で結合することができ、

Dは、水素、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキル、O—アルキルから選択され、Dは場合によって、アルキル、ハロ、ニトロ、シアノ、O—アルキル、もしくはS—アルキルによって置換され；

Rは、H、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、アラルキル、およびヘテロアラルキルであり；

各R₂は、独立して、H、C₁—C₁₂アルキル、C₃—C₈シクロアルキル、アリール、アラルキル、ヘテロアリール、ヘテロアラルキル、およびヘテロシクロアルキルからなる群より選択され、それぞれはさらに、場合によって、C₂—C₆アルケニル、C₂—C₆アルキニル、C₃—C₈シクロアルキル、C₅—C₈シクロアルケニル、ヘテロシクロ；ハロ、OR、ROH、R—ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、NRPO_nOR、オキソ、=N—OR、=N—N(R)₂、=NR、=NNRRC(O)N(R)₂、=NNRRCO_nR、=NNRS(O)_nN(R)₂、および=NNRS(O)_n(R)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換されるか；

または各R₂は独立して、C₁—C₆アルキルからなる群より選択され；アリールもしくはヘテロアリールによって置換され；これらの基は、場合によって、ハロ、OR、ROH、R—ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)

)₂、NRPO_nORからなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；
 R3は、C₂－C₆アルケニル、C₂－C₆アルキニル、C₃－C₈シクロアルキル、C₅－C₈シクロアルケニル、もしくはヘテロシクロであり；これらの基は、場合によって、ハロ、OR2、R2－OH、R2－ハロ、NO₂、CN、CO_nR2、C(O)N(R2)₂、C(O)N(R2)N(R2)₂、C(S)R2、C(S)N(R2)₂、S(O)_nN(R2)₂、SR2、SO_nR2、N(R)₂、N(R2)CO_nR2、NR2S(O)_nR2、NR2C[=N(R2)]N(R2)₂、N(R2)N(R2)CO_nR2、オキソ、=N－OR2、=N－N(R2)₂、=NR2、=NNRC(O)N(R2)₂、=NNR2C(O)_nR2、=NNR2S(O)_nN(R2)₂、および=NNR2S(O)_n(R2)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；

R6は、アリアルもしくはヘテロアリアルであり、該アリアルもしくはヘテロアリアルは、場合によって、アリアル、ヘテロアリアル、R2、R3、ハロ、OR2、R2OH、R2－ハロ、NO₂、CN、CO_nR2、C(O)N(R2)₂、C(O)N(R2)N(R2)₂、C(S)R2、C(S)N(R2)₂、S(O)_nN(R2)₂、SR2、SO_nR2、N(R)₂、N(R2)CO_nR2、NR2S(O)_nR2、NR2C[=N(R2)]N(R2)₂、N(R2)N(R2)CO_nR2、OC(O)R2、OC(S)R2、OC(O)N(R2)₂、およびOC(S)N(R2)₂からなる群より選択される1つもしくは複数の基で置換され；

R7は、H、オキソ、C₁－C₁₂アルキル；C₃－C₈シクロアルキル、アリアル、アラルキル、ヘテロアリアル、ヘテロアラルキル、もしくはヘテロシクロアルキルであり、それぞれはさらに、場合によって、C₂－C₆アルケニル、C₂－C₆アルキニル、C₃－C₈シクロアルキル、C₅－C₈シクロアルケニル、ヘテロシクロ；ハロ、OR、ROH、R－ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、NRPO_nOR、オキソ、=N－OR、=N－N(R)₂、=NR、=NNRC(O)N(R)₂、=NNR2C(O)_nR、=NNR2S(O)_nN(R)₂、および=NNR2S(O)_n(R)からなる群より選択される1つもしくは複数の置換基で置換され；

R8は、アルキル、ハロアルキル、アルケニル、アルキニル、アルコキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロアリアル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリアル、アラルキル、およびヘテロアラルキルであり；n=1～2であり、q=0～1であり、

ベンゾフラン部分のベンゼン環は、R2、ハロ、OR、ROH、R－ハロ、NO₂、CN、CO_nR、CON(R)₂、C(S)R、C(S)N(R)₂、SO_nN(R)₂、SR、SO_nR、N(R)₂、N(R)CO_nR、NRS(O)_nR、NRC[=N(R)]N(R)₂、N(R)N(R)CO_nR、NRPO_nN(R)₂、およびNRPO_nORからなる群より独立して選択される3個までの置換基で場合によって置換され、この3個までの置換基は、ベンゼン環の隣接するどの炭素原子間でも環を形成しない。ただし、当該化合物は塩基性脂肪族アミン官能基を含有せず、カルボン酸基を含有しないものとする)

を含み得る。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0072

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0072】

「アラルキル」という用語は、単独もしくは組み合わせて、1つもしくは複数の水素原子が前記定義のアリアルラジカルによって置換されている前記定義のアルキルラジカルを

包含する。アラルキルラジカルの例としては、ベンジル、2-フェニルエチル等が挙げられるが、これらに限定されない。

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0073

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0073】

「アラルカノイル」という用語は、アリール置換アルカンカルボン酸、たとえば、フェニルアセチル、3-フェニルプロピオニル（ヒドロシンナモイル）、4-フェニルブチリル、（2-ナフチル）アセチル、4-クロロヒドロシンナモイル、4-アミノヒドロシンナモイル、（1-ナフチル）アセチル、4-メトキシヒドロシンナモイル等から誘導されるアシルラジカルを包含する。

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

「ヘテロサイクリル」もしくは「ヘテロシクロ」もしくは「ヘテロシクロアルキル」という用語は、安定な3～7員単環式ヘテロ環もしくは8～11員二環式ヘテロ環であって、飽和もしくは部分的に不飽和であり、単環式ならば、場合によってベンゾ縮合でき、1つもしくは複数の炭素原子上で場合によってハロゲン、アルキル、アルコキシ、オキソ等によって置換される、および／または第2窒素原子上で（すなわち、-NH-）アルキル、アラルコキシカルボニル、アルカノイル、フェニルもしくはフェニルアルキルによって置換されるか、または第3窒素原子上で（すなわち、+N-）オキシドによって置換され、炭素原子を介して結合するものである。各ヘテロ環は、1つもしくは複数の炭素原子、ならびに窒素、酸素および硫黄から選択される1～4個のヘテロ原子からなる。本明細書において用いる場合、「窒素および硫黄ヘテロ原子」という用語は、窒素および硫黄の酸化形態ならびに任意の塩基性窒素の四級化形態を包含する。ヘテロサイクリルラジカルは、任意の環内炭素もしくはヘテロ原子に結合することができ、安定な構造の形成をもたらす。好適なヘテロ環は、5～7員単環式ヘテロ環、および8～10員二環式ヘテロ環を包含する。かかる基の例として、イミダゾリニル、イミダゾリジニル、インダゾリニル、パーヒドロピリダジル、ピロリニル、ピロリジニル、ペペリジニル、ピラゾリニル、ピペラジニル、モルホリニル、チアモルホリニル、チアゾリジニル、チアモルホリニルスルホン、オキソピペリジニル、オキソピロリジニル、オキソアゼピニル、テトラヒドロピラニル、テトラヒドロフラニル、ジオキソリル、ジオキシニル、ベンゾジオキソリル、ジチオリル、テトラヒドロチエニル、スルホラニル、ジオキサニル、ジオキソラニル、テトラヒドロフロジヒドロフラニル、テトラヒドロピラノジヒドロフラニル、ジヒドロピラニル、テトラヒドロフロフラニルおよびテトラヒドロピラノフラニルが挙げられる。

【誤訳訂正 12】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0083

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0083】

「ヘテロアラルキル」という用語は、単独もしくは組み合わせて、1つもしくは複数の水素原子が前記定義のヘテロヘテロアリール基によって置換された、前記定義のアルキルラジカルを包含する。

【誤訳訂正 13】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

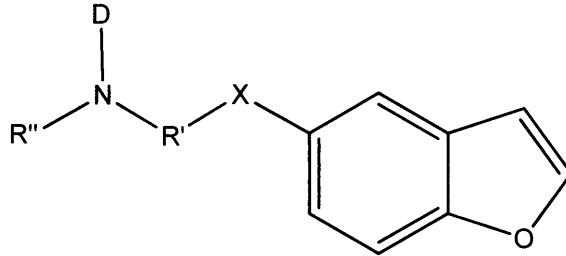
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式によって表される化合物、またはその薬理学的に許容される塩：

【化 1】



(式中：

X は $-N(D)-SO_2-$ であり、

R' は、 C_1-C_3 アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキル、およびヘテロアラルキルからなる群より独立して選択される 3 個までの置換基によって置換されていてもよい C_2-C_6 アルキレンであり

、
各 D は、独立して、水素、アルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキル、およびアラルキルからなる群より選択され、

R'' は、 C_1-C_6 アルキル、 C_3-C_6 シクロアルキル、 C_3-C_6 シクロアルキル- C_1-C_6 -アルキル、ヘテロシクロアルキル、ヘテロシクロアルキルアルキル、アリール、ヘテロアリール、ヘテロアラルキルもしくはアラルキルであって、場合によって、OH、O-アルキル、アルキルアミド、アルキルカルバモイル、ハロ、ニトロ、シアノ、S-アルキル、アラルキル、およびヘテロアラルキルからなる群より独立して選択される 3 個までの置換基によって置換される)。

【請求項 2】

各 D が、独立して、水素またはアルキルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R'' が、 C_1-C_6 アルキルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

薬理学的に許容される希釈剤、アジュバントもしくは賦形剤、および治療有効量の請求項 1～3 のいずれか一項に記載の化合物を含む、医薬製剤。

【請求項 5】

シトクロム P 450 2 D 6 酵素の阻害に用いられるための、請求項 4 に記載の医薬製剤。

【請求項 6】

薬物の有効性が、シトクロム P 450 2 D 6 酵素による分解のために低下する場合に、薬物の前または薬物と実質的に同時に投与されるように用いられる、請求項 4 または 5 に記載の医薬製剤。

【請求項 7】

前記薬物がデキストロメトर्फアンである、請求項 6 に記載の医薬製剤。